

高川小だより

令和4年(2022年)12月23日

発行者: 校長 寺本 正行

高川小HPは
こちら➡



二学期が終わりました



今日で二学期が終わります。二学期は一番長い学期だったので、暑い夏から過ごしやすい秋、そして寒い冬へと季節の移り変わりを感じましたね。二学期には、運動会、舞台発表会・作品発表会のような大きな行事がありました。みなさんは、行事を通して、自分を表現することや自分の役割に責任を持つこと、みんなと協力することなどを学びました。また、校外学習や社会見学で学校外へ出て勉強する機会もありました。公共のマナーや自分たちと社会がつながっていることなどを学びました。それらを通して、みなさん一人ひとりが成長しましたし、クラスや学年がよりまとまってきたように思います。



みなさんも、学校や家の生活を振り返って、自分のどんなところが成長したか見つけてください。成長の仕方は人それぞれちがいますし、成長したことを自分では感じにくいと思います。そういう人は、お家の人に聞いてください。必ずいくつも見つかるはずです。



一年の計は元旦にあり

詳しくは



毎年、年末が近づくと『今年一年はどんな年だったかなあ』、『今年は何ができたかなあ』と考えることがあります。

「前からやりたいと思っていた●●をやってみた」

「◎◎ができるようになった」

「〇〇を続ける事ができている」

「△△をやってみたけど、途中でやめた」

「□□をしようと考えていたけど、まだできていない」

など、いろいろあると思います。みなさんはどうでしたか?振り返ってみてください。

うまくいかなかったことや、まだできていないことがあっても、これからまたチャレンジしたらいいと思います。

「一年の計は元旦にあり」という言葉があります。「一年の計画は一年の一番最初である1月1日の朝に立てるのが大事である」つまり、「物事を始めるには最初にしっかりと計画を立てることが大事である」という意味です。

もうすぐ新しい年になります。いい機会ですので、1月1日に『今年の計画』をたててみませんか？計画というときちんと考えないといけないみたいなので、『今年の目標』でいいと思います。ただし、とてもできそうにない目標はやめましょう。

みんな、いっしょうけんめい生きている

みなさんが学校で過ごすようすを見ていて、『みんな、いっしょうけんめい生きているなあ』と感じます。授業も、行事も、遊びも、いっしょうけんめいですね。例えば、運動会の演技をいっしょうけんめい練習してうまくおどれた人は、運動会が『楽しかった』でしょう。漢字テストの勉強をいっしょうけんめいやって満点がとれたら『うれしい』と思いますよね。

逆に、いやな気持ちになることもありますね。『腹立つ』気持ちや『くやしい』気持ちになって、けんかをしてしまったこともあるでしょう。気持ちをうまく伝えることができなくて『いらいら』したり、何かうまくいかないことがあって『もういい』とあきらめの気持ちになることもあると思います。でも、そんないやな気持ちになるのも、みなさんがいっしょうけんめい生きているからだ」と校長先生は思います。

いやな気持ちになることはだめなことではありません。落ちこんだり、悩むことはあるでしょう。でも、絶対に自分のことや友だちのことをきらいにならないでください。運動会のあいさつで、『いっしょうけんめいは美しい』と言いましたが、みなさんはいっしょうけんめい生きている。みんな美しいです。自信を持ってください。

それでは、3学期にみなさんと会うことを楽しみにしています。



<保護者のみなさまへ>

2学期は、運動会・授業参観・舞台発表会・作品発表会など、お子さまが学校で授業に参加するようすや行事に取り組むようすを見ていただくことができました。多くのみなさまに見ていただいて、子どもたちもうれしかったと思います。

また、11月の終わりから12月にかけて子どもの安全に関わる事件等が起きました。その際に、お迎えに来ていただいたり登下校の見守りにご協力いただき、ありがとうございました。

冬休みは年末年始もあり、お子さまと一緒に過ごす時間が増えると思います。この機会に、この1年を振り返って、お子さまの成長したところを伝えてあげてください。

まだまだコロナ、インフルエンザなどの心配もあります。健康管理にはご留意ください。

よいお年をお迎えください。